

平成 28 年度 まちづくり活動助成 「地域 “魅力” アップ部門」 公開選考会



日時 平成 28 年 6 月 11 日 (土) 10 時 30 分～16 時 00 分
会場 名古屋都市センター 11 階 ホール

6 月 11 日 (土) 名古屋都市センター11階ホールで、平成 28 年度のまちづくり活動助成「地域 “魅力” アップ部門」の公開選考会が行われました。今年度は 9 団体の応募がありました。

「地域 “魅力” アップ部門」応募団体 (9 団体)

1. 音楽サークル ドラむす
2. 子どもと女性のイスラームの会
3. 南区介護事業所連絡会
4. なごや寺町まちづくり協議会
5. 緑区観光推進協議会
6. 女子大地蔵祭実行委員会
7. 緑区片平学区連絡協議会
8. 名古屋陶磁器産業歴史文化研究会
9. 鯉城・堀川と生活を考える会



◆ まちづくり基金運用委員会 委員紹介



名古屋工業大学大学院
工学研究科准教授

石松 文佳 委員長



特定非営利活動法人
こどもNPO

田尾 幸子 副委員長



公益社団法人
名古屋青年会議所
副理事長
鈴木 和貴 委員



特定非営利活動法人
岡崎まち育てセンタ
ー・りた 事務局次長
三矢 勝司 委員



名古屋市住宅都市局
都市計画部長

二村 康成 委員



「“はじめの一步”部門」の結果公表

平成 28 年度まちづくり活動助成 「“はじめの一步” 部門」の助成団体の選考結果を発表しました。まちづくり基金運用委員による書類審査を行い、応募があった 5 団体の中から 4 団体が選ばれました。



「はじめの一步”部門」助成団体	提案名
● 西白砂町内盛り上げ隊	西白砂 3 世代でお祭りを盛り上げ、つなげ、つながる！
● 家具転倒防止ボラ緑	緑区民ぐるみで家具転倒防止を行い防災・減災の街づくり
● こどもと地域まちをつむぐ会	地域でこどもを育てよう！こどもが未来のまちの希望
● 名古屋大学科学部	名大生直伝生き物探索術 「生き物マップを作ろう！-名古屋城近辺編-」

◆ 「地域“魅力”アップ部門」の選考の進め方について

公正を期するため、また、各団体の活動をより多くの人に知ってもらうため公開としていること、選考の進め方についての説明を行いました。

- ・ 1 次審査は事前に提出された申請書類と提案発表・質疑応答で審査をする。
- ・ 2 次審査は 1 次審査通過団体に対し、委員による公開質疑を行う。
- ・ その結果を踏まえ、委員全員が「**選考にあたって重視する点**」の 5 項目の**必要性、独創性、実現性、発展性、活動実績と主体性**についてそれぞれ「**3 点**」「**2 点**」「**1 点**」「**0 点**」と評価し、委員の平均点を出す。
原則、委員の**平均点が 12 点以上の団体**について、予算の範囲内で上位団体から順に選考
12 点未満であっても、特に委員が助成の必要があると評価する団体について、予算の範囲内で上位団体が

◆ 「地域“魅力”アップ部門」1 次審査 団体による提案発表と質疑

発表時間は各団体 7 分間、その後の質疑応答は 5 分間です。1 分前にタイムキーパーがベルを鳴らし、『あと 1 分です』と書かれた札を揚げます。終了時間になるとタイマーがなり、タイムキーパーが『終了』の札を揚げ、終了します。

提案発表～質疑

提案発表（7 分間）

質疑応答（5 分間）

1 音楽サークル ドラむす



●提案名/
みんなで音楽たのしもう！
～パネルシアターでうたの世
界を表現してみよう～

田尾委員 「より多くの場所で演奏したい」「様々な地域へ障がいのあるパフォーマーを派遣」するとあるが、どのような地域や、場所に広げていく予定ですか。

発表者 現在の活動の拠点は、瑞穂生涯学習センターです。その周辺で活動を広げたいと考えています。

パフォーマーのデータブックを作り、市民活動推進センターや、社会福祉協議会などに配布したところ、依頼がありました。団体のホームページでも情報発信をしているので、活動の場が広がっています。

田尾委員 障がい者、健常者、関係なく音楽を楽しむとあるが、両者が一緒に参加するために工夫している点についてお聞かせ下さい。

発表者 決められたリズムを教えるのではなく、本人のリズム感に任せています。



2 子どもと女性のイスラームの会



●提案名/
食のバリアフリー体感・パネ
ル
展と社会の構築

鈴木委員 展示活動、会場活動は、それぞれどのような内容か、どれぐらいの規模ですか。

発表者 企業は8社から10社を、来場者は300から500人を想定しています。展示活動はこれまでの団体の活動や、企業や食品メーカーの取り組みをパネルに展示します。会場活動は、海外体験のある日本人や子ども達が自分たちの経験を話し、パネルディスカッションで会場のみなさんと意見交換することを考えています。

鈴木委員 今回の活動が地域にどのように広がってゆくのか、今後の展開についてお聞かせ下さい。

発表者 企業や行政にも協力をしてもらい、自分たちでできる活動に取り組みたいと思います。

3 南区介護事業所連絡会



●提案名/
第2回おしゃれで輝こう！
ミナミコレクション

田尾委員 昨年度のシニアファッションショーですばらしい成果をあげて、実績もありますが、まちづくりの効果についてどのように考えていますか。

発表者 今後は南区だけでなく、名古屋市南部での活動を考えています。他の区の事業所やNPO団体、地元の企業にも協力いただき広い地域でまちづくり活動の展開を考えています。

田尾委員 他の地域での波及効果について具体的にお聞かせください。

発表者 シニアのモデルさん達が、ファッションショーに出たのをきっかけに、まちに出る機会が増え、まちづくりに積極的に協力するようになったと聞いています。

4 なごや寺町まちづくり協議会



- 提案名/
どんぐり広場再生計画

二村委員 今年度の提案では、「下日置どんぐり広場」の整備計画のプランを作成するとあるが、来年以降プランをどのように実現させますか。

発表者 法的な規制の中で、木や芝生を植えたり、地域からの花の寄付をいただく等、状況に合わせて実施します。

二村委員 「どんぐり広場再生計画」の提案により、今後どれだけ地域を巻き込んだまちづくり活動が展開できますか。

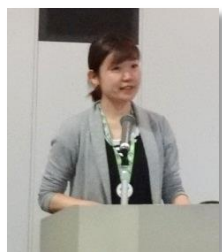
発表者 近隣の世帯や、地域全体のため、また「下日置どんぐり広場」の利用について困っている人達にも活動を広げたいと考えています。また、中区は緑地が少ないので、地域の宝として子どもから大人まで喜びを創出できるような場所づくりを行いたいと考えています。

二村委員 今回、提案された「下日置どんぐり広場」以外に、地域に維持管理が出来ていないどんぐり広場などはありますか。

発表者 すでに活動を始めている「下日置どんぐり広場」で活動を考えています。今後はエリア内で同じ問題を抱える公園があれば、同様に活動を行いたいと思います。



5 緑区観光推進協議会



- 提案名/
地域のみinnで外国語版
散策マップづくり
～緑区inninnでおもてなし～

二村委員 緑区の文化について、どのようなものがあるかお聞かせ下さい。

発表者 緑区には松尾芭蕉ゆかりの史跡があり、俳句の会が多数あります。また、伝統工芸の有松しぼり、鳴海には、日本で最初にプロ野球が行われた鳴海球場等があります。

二村委員 マップの配布先と印刷数 5000 部の根拠を教えてください。

発表者 配布先は外国人観光客が訪れる名古屋市内の観光案内所や、中部国際空港等を考えています。

二村委員 マップのサイズや紙厚などどのような仕様ですか。

発表者 日本語版より少し大きいハンディサイズを考えています。

6 女子大地蔵祭実行委員会



- 提案名/
街おこし人おこし

- 三矢委員** 提案の屋外でのお祭りですが、雨天の場合の対応をお聞かせ下さい。
- 発表者** 基本的には、雨天でも開催します。
- 三矢委員** のぼり旗や横断幕の設置は、屋外広告物条例に対応していますか。
- 発表者** 池田公園の中にジャンボのぼりを設置し、他ののぼりは個人の敷地内に設置するので問題ないと思います。
- 二村委員** 公園の管理者や名古屋市住宅都市局の都市景観室等にもご相談下さい。
- 発表者** 土木管理事務所から池田公園の管理委託を受けている別の組織に、公園使用許可等の調整を進めています。
- 三矢委員** 助成金を利用してはっぴを作成することの意義は何ですか？
- 発表者** 「女子大地蔵祭」は、今年でまだ3年目のためまだ知名度が低い。開催場所の栄東地域に関わる多様な参加者を募り、自分たちが支給したはっぴを着ていることで参加者として認識したいと思っています。

7 緑区片平学区連絡協議会



- 提案名/
安心・安全で快適なまちづくり
— みんなで創る住みよい
街・片平 —

- 鈴木委員** 「一軒一灯運動」と「花いっぱい運動」とは結びつけて活動はしないのですか。
- 発表者** 昨年度も学区で環境学習会を開き、花をベースに「防犯コンテナ」をつくり、地域に防犯に対する認識ができました。本年度は地域の安全なまちづくりを進めるために「一軒一灯運動」の展開を考えています。
- 鈴木委員** 「防犯コンテナ」は現在どんな状況ですか。
- 発表者** 玄関に設置したコンテナの花を植え変えて、活動を継続しています。
- 鈴木委員** 「花いっぱい運動」の昨年度との違いや、今年度の新たな工夫や展開について教えてください。
- 発表者** 苗をプランターに植えるだけでなく、花の種を4000粒購入して種から苗をつくり活動をしています。地域みなさんに参加してもらい話ができるコミュニティづくりに役立っています。



8 名古屋陶磁器産業歴史文化研究会



- 提案名/
名古屋陶磁器会館ホール
を活用した「文化のみち」の
活性化

- 石松委員長** 提案活動の成果についてお聞かせください。
- 発表者** 名古屋城から徳川園をつなぐ「文化のみち」の要所である名古屋陶磁器会館を利用し、人の流れをつくりたいと考えています。
- 石松委員長** 襖絵の作者である日本画家の伊東氏と名古屋あるいは当地との関わりはありますか？
- 発表者** 関連性についてのキーワードは「襖絵」ですが、伝統的な技法を熟知し、歴史ある日本画の技法に長けており、襖絵も無償で提供いただけます。
- 石松委員長** さくらの襖絵を夏から秋の時期に展示する理由は何ですか？
- 発表者** 3月から6月頃の展示を想定していたが、大きな注目が集まる「あいちトリエンナーレ 2016」に合わせ、夏から秋に展示することにしました。それでも作品の魅力は十分理解いただけだと思います。今回の提案内容は、名古屋の文化的水準の向上につながると考えます。

9 鯉城・堀川と生活を考える会



- 提案名/
堀川の水質検査、周辺道
路清掃、一般市民との交
流活動により堀川を次世
代の子供達に残す

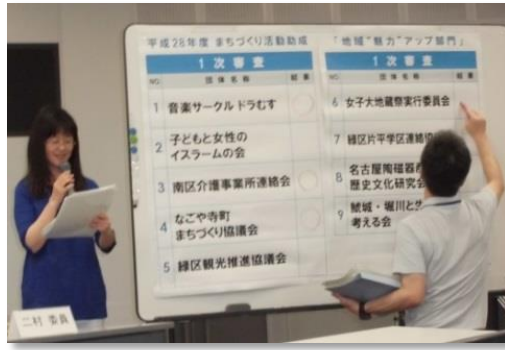
- 三矢委員** 提案活動の実施スケジュールにある、^{はちかそんようすい}八カ村用水の水質検査は堀川とどのような関係ですか。
- 発表者** 堀川の水源には、庄内川や一部、八カ村用水があるため、堀川だけでなく同様に水質検査を行っています。
- 三矢委員** 水質検査後、堀川の浄化活動に具体的にどのように取り組みますか。
- 発表者** 私たちは水質検査を行い、変化や結果などの情報をいち早く行政に届けています。
- 三矢委員** 行政との連携とはどのようなものですか。
- 発表者** 2つの重要な活動があり、1つは水質検査のデータを届けること、2つ目はフラワーフェスティバル等のイベントを通じた市民の声を、私たちの目線でとらえて提供しています。

◆ 「地域“魅力” アップ部門」1次通過団体の公表

各団体による提案発表、質疑応答を受けて委員による1次投票の結果、1次審査を通過した団体の公表を行いました。7団体が通過し、会場からは拍手と歓声があがりました。

1次審査通過団体

- 音楽サークル ドラむす
- 南区介護事業所連絡会
- なごや寺町まちづくり協議会
- 女子大地蔵祭実行委員会
- 緑区片平学区連絡協議会
- 名古屋陶磁器産業歴史文化研究会
- 鯉城・堀川と生活を考える会



◆ 「地域“魅力” アップ部門」2次審査 公開質疑

1次審査を通過した団体に対して、委員による公開質疑を行いました。

公開質疑

● 音楽サークル ドラむす



Q: 今後の活動の発展性についてお聞かせください。

3年前に制作したパフォーマーのデータブックを今年度内に更新して、活動の場を広げようと考えています。

作成したデータブックは、市民活動推進センターや各区の自立支援協議会等に直接伺って、つながりを深めて行こうと考えています。

● 南区介護事業所連絡会



Q: 他区にも活動を広げていく工夫についてお聞かせください。

昨年度、緑区鳴子地区で「ミナミコレクション」を開催した実績を活かし、他の事業所連絡会との協力や、病院も含めた医療連携等も進めています。シニアのためのファッションショーをきっかけにそれぞれが協働してつながりができるので、他区での活動が広がる可能性が十分あると思います。

● なごや寺町まちづくり協議会



Q: 「下日置どんぐり広場」の利用方法についてお聞かせください。

まずは、地域に緑地である公園を残したいという思いがあります。アドバイザーによる専門的な意見を取り入れ、募集要項の中で条件を決める等、自分たちができることから始めたいと思っています。

● 女子大地蔵祭実行委員会



Q: 参加者を増やしていく方法についてお聞かせください。

「女子大地蔵祭り」が、地域で知名度が上がるような広報活動を行い、参加者を増やしたいと考えています。

Q: 参加者、見学者、地域住民との交流できる工夫についてお聞かせください。

今年からは、参加者と地域の交流を目的に、お祭り後に懇親会を予定しています。

● 緑区片平学区連絡協議会



Q: 避難経路マップの計画についてお聞かせください。

9月25日に緑区の片平学区全体の自主防災訓練を行う予定です。各町内ごとに、危険個所をチェックしながら避難所の小学校に集まり、大きい地図に危険個所を記入します。問題点等を抽出して、行政とも連携し次の展開を考えています。

Q: 「地域“魅力”アップ部門」3年目の活動を発展させるための工夫について

1年目は「花いっぱい活動」を学区に広め、「花育」という言葉を発信しました。2年目は地域の学習会で、花をベースにした防犯コンテナづくりを行ったところ、学区に防犯の意識が芽生えました。今年度はさらに防犯意識を高めるために「一軒一灯運動」の展開を考えています。



● 名古屋陶磁器産業歴史文化研究会



Q: 東区にふさわしい提案や工夫はありますか。

まずは、名古屋陶磁器会館の「襖絵」の展示会に来場いただき、実際にまちを歩くと、まちの良さを分かっていただけだと思います。

Q: 今後はどのような展開をお考えですか。

名古屋学芸大学に協力いただき、年に4回程度、愛知県や名古屋市を拠点に活動している作家の季節展を考えています。

● 鯉城・堀川と生活を考える会



Q: 環境活動が、今後どのようにまちづくりにつながりますか。

まずは堀川の歴史や文化、水質等の実態を知ってもらうことが重要だと考え、広報活動を行っています。堀川は複数の区にまたがっているので、各地域の住民を巻き込めば、新たなまちづくりの可能性が見えてくると思います。



「地域“魅力” アップ部門」最終結果の公表

委員による2次投票と審議の結果、1次通過団体7団体のうち、6団体が選ばれました。

平成28年度まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」公開選考会 最終結果																													
順位	No.	団体名称	委員の平均点 (15点満点)	選考にあたって重視する点を評価												申請額 円	助成上限額 円												
				計				必要性			独創性			実現性				発展性			活動実績と主体性								
				3点	2点	1点	0点	3	2	1	0	3	2	1	0			3	2	1	0	3	2	1	0				
3	2-1	音楽サークル ドラむす	12.60点	14	10	1	0	4	1	0	0	0	4	1	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	130,108	130,108			
8	2-2	子ども女性のイスラームの会	10.40点	6	15	4	0	2	3	0	0	1	2	2	0	2	3	0	0	0	4	1	0	1	3	1	0	400,000	
1	2-3	南区介護事業所連絡会	13.40点	17	8	0	0	2	3	0	0	3	2	0	0	5	0	0	0	3	2	0	0	4	1	0	0	300,000	300,000
2	2-4	なごや寺町まちづくり協議会	12.80点	16	7	2	0	4	0	1	0	3	2	0	0	4	1	0	0	1	4	0	0	4	0	1	0	320,000	320,000
9	2-5	緑区観光推進協議会	10.00点	7	12	5	1	1	4	0	0	0	2	3	0	3	2	0	0	0	2	2	1	3	2	0	0	400,000	
5	2-6	女子大地蔵祭実行委員会	12.20点	12	12	1	0	4	1	0	0	1	3	1	0	3	2	0	0	1	4	0	0	3	2	0	0	400,000	400,000
4	2-7	緑区片平学区連絡協議会	12.40点	13	11	1	0	2	3	0	0	1	4	0	0	4	1	0	0	1	3	1	0	5	0	0	0	303,000	303,000
6	2-6	名古屋陶磁器産業歴史文化研究会	11.80点	12	10	3	0	2	3	0	0	2	2	1	0	3	2	0	0	3	1	1	0	2	2	1	0	400,000	340,000
7	2-9	鯉城・堀川と生活を考える会	11.20点	7	17	1	0	1	4	0	0	0	5	0	0	1	4	0	0	1	3	1	0	4	1	0	0	131,455	



◆ 委員長による講評

すべての発表を通して、石松委員長が講評を述べました。



選考にあたって重視する、それぞれの項目で気づいた点をお伝えします。**まずは、「必要性」です。**近年の傾向として、多様性がキーワードになっていると思います。音楽サークルドラむすや、子ども女性のイスラームの会のように、多様性を認めることがまちづくりにおいてとても重要なことだと思いました。この多様性を認めた上で、どのようにまちづくりを行うかは、私たちの今後の課題でも感じました。南区介護事業所の発表で、シニアのファッションショーを通して多世代で交流ができ、まちの活気につながった例はとても参考になりました。

講評：石松委員長

2点目は「独創性」です。みなさんの発表を聞いて、地域資源をどのように理解するかがとても大切だと思いました。地域性とは何かを考えて理解すると、「独創性」が見つけられます。その点で、鯉城・堀川と生活を考える会の活動は、非常に意義がある活動だと思いました。また、なごや寺町まちづくり協議会の活動内容は、最初は地域資源を理解してないのではないかという印象を受けましたが、2次審査のヒアリングで、地域にある「どんぐり広場」に緑を残したいという気持ちが伝わって、評価につながりました。

3点目は「主体性」についてです。この助成の取り組みは、あくまでもまちづくり活動に対するものであり、運営費を提供するものではありません。これが「主体性」で大切なところだと思います。「自分たちはこんなことができます」「このようなまちづくりがしたいので、この部分は助成をしてほしい」等、具体的な提案内容を聞かせてほしいです。それがあまり聞けなかった団体は、「主体性」の評価が低くなりました。

それから、私は「持ち出しの精神」が大事だと思います。女子大地蔵祭実行委員会で、はっぴを買うという提案がありました。以前私は伊勢で、儀式を行うためのはっぴを自分たちで揃えたことがあります。しかし今回の提案は、助成金で買うのかと思いましたが、参加費 1,000 円からクリーニングをするという事に安心しました。「主体性」の点では、持ち出す部分や自分たちの労働力等を明確に提案書に記入していただくと理解が深まると思います。

最後に「発展性」についてです。どのように実体的なまちづくりにつながっていくか、具体的にイメージできるか。が評価の尺度となっています。その点で鯉城・堀川と生活を考える会の活動は、具体的なまちづくりについて聞けなかった部分があり、今後の課題としていただきたいと期待感を持っています。

ここでみなさんに、まちづくり基金運用委員会の西澤前委員長の「みなさん夢を持って下さい」という言葉をご紹介します。鯉城・堀川と生活を考える会の、黒川の桜を堀川沿いにつなげたいという提案や、名古屋陶磁器産業歴史文化研究会の、文化のみちの質が高い芸術を地域に紹介して、文化的水準を高めたいという提案はとても印象的でした。

常に夢を持って活動の発展性を考えると、より具体的になり、理解も深まると思いますので参考にしてみてください。

◆ 閉会

16:00に全てのプログラムを終了し、閉会しました。参加された方にはアンケートにご協力をお願いして、帰る際に回収をさせていただきました。

アンケートでは、助成以外の支援について、活動の広報や人材育成、新たな人材の参画の希望があり、また地域住民をはじめ、大学生を含む若者と一緒に活動に取り組みたいという意見がありました。

まちづくり活動助成金を活用し、魅力的なまちづくりが進むよう期待します。